

幼児教育での ICT 活用

～どのような実践が子供の活動を探究的にするのか～

園田学園女子大学 人間教育学部
教授 堀田 博史

1. はじめに

保育でのデジタル技術の活用は必要なのでしょうか。働き方改革と言われる中で、活用が不可欠な部分と保育での活用では慎重に進めないといけない部分が混在しています。OECD「デジタル世界における幼児教育・保育 (Early Childhood Education and Care in a Digital World)」調査研究プロジェクト (2021～2023 年) の幼児教育・保育白書第 7 部 (Starting Strong VII) では、日本は保育、幼児教育でのデジタル技術の活用について、積極的であることが示されています。

ここでは、保育での ICT 活用がどのような目的で進められるべきなのか、実践をもとに皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

2. 子供たちは今後どのような社会で生きていくのでしょうか

20XX in Society 5.0～デジタルで創る、私たちの未来～

少子化をめぐる現状：人口減少

外国人労働者数の増加

学習の基盤となる資質・能力 (2017 年 3 月 31 日・学習指導要領改訂)

言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力

OECD 生徒の学習到達度調査 教室の授業でデジタル機器を使う時間の国際比較(2018 年)

GIGA スクール構想 (2019 年 12 月 19 日)

3. なぜ、保育で ICT を活用するのですか？

保育での ICT 活用で興味・関心を誘発するだけでなく子供たちに「問い」を持たせる

これからの時代を見据えた教育内容・方法の革新

多様な他者と協働して新しい価値を生み出す

ICT は子供の問いを解決する手段だけでいいのでしょうか？

「なぜ」「どうして」「あれっ」追求と探究を繰り返す ICT 活用

学びの過程を大切にしていますか？

教育課程部会 幼児教育部会 (第 7 回) 配付資料 資料 3 幼児教育部会とりまとめ (たたき台案) より引用
(参照日：2023/05/01) http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/057/siryo/attach/1370317.htm

主体的な学びの過程：幼児が積極的に環境に働き掛け、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの遊びを振り返って次につなぐという、主体的な学びの過程が実現できているか

対話的な学びの過程：他者との関わりを深める中で、自分の思いや考えを表現し、伝え合ったり、考えを出し合ったり、協力したりして学ぶ過程が実現できているか

深い学びの過程：見方や考え方を働かせながら、直接的・具体的な体験の中で、対象と関わって心を動かし、幼児なりのやり方やペースで試行錯誤を繰り返す、楽しさや不思議さ等の追求や問題解決に向けた探究的な学びの過程が実現できているか

4. 保育での ICT 活用を実現するために何が必要！

保育者の情報活用能力

子どもや保護者に ICT 活用ルールを決める

園に ICT 環境を整える！

- ① 1人1台のパソコンまたはタブレット端末の必要性
- ② タブレット端末の映像を投影する大きなテレビやプロジェクターがあると便利
- ③ 撮影した写真を印刷するプリンターが必要
- ④ 保育システムの導入（無料サービスからはじめてみましょう！）
- ⑤ ICT 担当者を事務の方を含めて数名決める
- ⑥ 保育の DX を推進する

園のプライバシーポリシーをつくる

5. 保護者が園の ICT 化に期待すること

保育システムで園とのやり取りがデジタル化

保育で ICT を活用の具体的なイメージはないが、長時間にならないようにと願う

動画配信・オンライン保育をして欲しい

【参考文献】

OECD 幼児教育・保育白書第7部（Starting Strong VII）

https://www.mext.go.jp/content/20230420_mxt_syoto-000029395.pdf（参照日：2023/05/01）

【略歴】

1962年(昭和37年)大阪生まれ。現在、園田学園女子大学 人間教育学部 教授。文部科学省「ICT活用教育アドバイザー」、デジタル庁「デジタル推進委員」、文部科学省「次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進事業（箕面市）」有識者、文部科学省「幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業（七松幼稚園）」調査研究委員などを併任。

長年、幼児教育におけるメディア活用の研究に従事。近年では、2014-2016年度・タブレット端末を活用する幼稚園版「学びのイノベーション」カリキュラムの実践と評価、2018-2020年度・黎明期を迎える幼児教育でのタブレット端末活用に関する研究、2021-2023年度・「幼児の遊びを止めない！」幼児教育でのICT活用におけるフレームワークの構築の研究代表者を務める。<http://hotta-lab.info/>で研究成果を公開中。